

例:令和2年の収入減が30%見込で、令和元年の事業収入300万円(事業所得200万円)
 不動産収入100万円(不動産所得 50万円)のケース
 事業収入等計算書

主たる生計維持者と同じ世帯で減免を受けようとする
 被保険者の方は「氏名」欄に本人の氏名を記入する。
 「2」以下は、主たる生計維持者の状況について記入する。

住所 羽幌町南6条3丁目

氏名 介護 太郎

㊞

1 事業廃止または失業の場合は該当する項目を☑を付けてください。

- 事業廃止 添付書類：廃業届、廃業証明書、法人登記簿等の証明書類
 失業 添付書類：離職証明書、退職証明書、雇用保険受給資格証明書等

※「1」に該当しない方は、「2」へ進んでください。

2 主たる生計維持者の事業収入等の減少見込みについて

| 主たる生計維持者の氏名 | 事業収入区分 | 令和元年の収入額 | ■令和2年の収入見込額 | 減少率 |
|-------------|--------|-------------|-------------|-----|
| 介護 太郎 | 事業収入 | 3,000,000 円 | 2,100,000 円 | 30% |
| | 不動産収入 | 円 | 円 | |
| | 山林収入 | 円 | 円 | |
| | 給与収入 | 円 | 円 | |

※主たる生計維持者は、保険料減免を受ける被保険者と同一世帯であること。
 ※減少率が30%未満の場合は対象となりません。(事業廃止または失業の場合は除く)
 ※令和2年の収入見込額には、収入減少の理由で受け取った保険金や損害賠償等により補てんされる金額は除いて記入してください。

令和2年中の収入見込額計算

| 収入の種類 | 申請時までの収入額 実績 | 申請後の収入額 見込 | ■令和2年の収入 見込額に記入する額 |
|-------|-----------------|---------------|-----------------------|
| 事業収入 | 900,000 円 | 1,200,000 円 | 2,100,000 円 |
| 不動産収入 | 円 | 円 | 円 |
| 山林収入 | 円 | 円 | 円 |
| 給与収入 | 円 | 円 | 円 |

※収入額見込みは、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入額が減少した実績が確定している2月から複数月を基準として、年額換算した金額を収入額見込みとして見積もりしてください。

※収入額実績及び収入額見込で算出した金額の状況が確認できる書類を提出してください。

例:帳簿の写し、給与明細の写しなど

3 主たる生計維持者の所得について(全ての所得状況について記入してください。)

| 主たる生計維持者の氏名 | 所得区分 | 令和元年の所得額 |
|-------------|-------|-------------|
| 介護 太郎 | 事業所得 | 2,000,000 円 |
| | 不動産所得 | 500,000 円 |
| | 山林所得 | 円 |
| | 給与所得 | 円 |
| | 年金雑所得 | 円 |
| 合計所得金額 | | 2,500,000 円 |

令和元年の全ての所得について、記入してください。

以下、記入不要です。

$$A \text{ 保険料賦課額} \times B \text{ 減少見込み事業収入等に} \div C \text{ 主たる生計維持者の} \\ \text{係る令和元年中の所得} \text{ 合計所得金額} \\ \text{円} \quad \text{円} \quad \text{円}$$

$$A \times B \div C = \text{円(対象保険料額) D}$$

$$D \times \text{減免割合} = \text{円(100円未満切上)}$$